

2015 年度 ローマ字教育研究会

開催要項

主催 公益財団法人日本のローマ字社 (NRS)

とき 2015 年 8 月 23 日 (日) 13:00~16:00

ところ 日本のローマ字社 事務所
文京区本郷 3 丁目 32-6 ハイヴ本郷 402



講演 戦時期におけるカナモジカイと「カナノヒカリ」にみる日本語進出論

講師 大東文化大学教員 田中寛先生

要旨

朝日新聞の掲載記事には、カナモジカイ関連のいくつかの記事が散見される。

1943.5.17 日刊三面 カナ文字が先達 「実用四千語」も近く南進

1943.7.3 日刊三面 南へ「日本の言葉」

1943.7.9 日刊二面 南へ行く「日本の言葉」

戦時期 (1931-1945) には夥しいほどの国語・日本語論が噴出した。

国内においては基礎日本語の確立が指向された。各種雑誌のなかで本発表では「カナノヒカリ」に掲載された諸記事を検分し、中国大陸、南方諸地域へ日本語が進出していくに当たり、カナモジカイが如何なる役割を果たしたのかも検証したい。独自に編纂された日本語教科書の実態についても検分する。さらに同時期に日本語普及に果たした「ローマ字世界」についても比較検討したい。

参加費 NRS 会員：無料 一般：500 円

お問い合わせ denwa: 03-3812-0021

email: roomazisya@gmail.com (日本のローマ字社)

○どなたでもご参加になれます

会場は、本郷通りの「みずほ銀行」「三菱 UFJ ニコス」並びで、それらに向かって右 80m ほどにある 100 円ショップ「NBK」の上です

*参考文献 『戦時期における日本語・日本語教育論の諸相 日本言語文化政策論序説』(田中寛著 2015-02-16 ひつじ書房刊)